



春シーズン始動！

明治大学体育会アメリカンフットボール部グリフィンスは、新体制最初の対外活動として、慶應義塾大学との合同練習を3月28日(土)に嵐が丘グラウンド(慶應義塾大学日吉キャンパス)で行いました。

9:30に両チームの挨拶を終えたあと、チーム混合でパートごとに分かれた練習(写真①②③)、その後、両チームのオフェンス VS ディフェンスによる実戦形式の練習が行われました。(④～⑧)

ヤード更新なしで1プレーずつ行う「Point Team 12 plays Each」、試合のようにヤード更新して前に進む「Drive Team 4series Each」、それぞれの練習を通して選手たちには、これから始まる春大会に向けて直近の課題がはっきり見えてきたようです。

この日は現役選手に交じって、セレクションの新メンバーや、OB高橋周平さんの姿も見られました。終盤のラントレーニング「Run Competition」には、昨シーズン、ラン獲得最多記録を更新しリーグ戦特別賞を受賞した高橋さんも参加し、両チームから歓声があがりました。(⑨⑩⑪) 最後に集合写真撮影を行い、合同練習は終了しました。(⑫)

昨年度のグリフィンスは関東大学1部TOP秋季リーグ2位、そして全日本大学選手権への出場とすばらしい成績を残すことができました。今年度においても、チームのさらなる飛躍を応援していきたいと思えます。

1年間、グリフィンス便りを通してチームを応援していきます。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

父母会広報担当
牛島、川東、佐尾山



2026年度甲子園ボウル優勝へ

平素より多大なるご支援、ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度、GRIFINSは創部92周年を迎えました。長い歴史の中で先輩方が築き上げてこられた伝統と、アメリカンフットボールに対する熱い情熱をしっかりと受け継ぎ、私たちはさらなる高みを目指して日々の活動に励んでおります。

昨年度は、関東一部リーグTOP8において2位という成績を収め、全日本大学選手権トーナメントに出場することができました。しかし、関西勢との壁を痛感し、私たちが目標としていた結果には届かず、非常に悔しい思いをいたしました。その悔しさと真摯に向き合い、反省を糧に、今年度こそは悲願である「学生日本一」を成し遂げるべく部員一同、並々ならぬ覚悟を持ってシーズンに臨みます。

2026年度のGRIFINSはチームスローガンに「ALL OUT」を掲げました。

この言葉には、「全員が常に自分に矢印を向け、自身の役割に対して責任を持ち、全力を出し切って勝利を掴み取る」という強い意志を込めています。他責にするのではなく、一人ひとりが「自分がチームを勝たせる」という主体性を持ち、一プレー、一瞬の練習にすべてを出し切る集団へと進化してまいります。

オフェンス、ディフェンス、キッキング、そしてスタッフ・コーチ陣、さらには父母会やOB・OG会、スポンサーの皆様。応援して下さるすべての方々と心をつなげて、全員が己の限界に挑戦し、泥臭く勝利を追求する所存です。

新チームはこれまで以上に個々の「自己研鑽」と「徹底した役割遂行」に重きを置き、互いを厳しく鼓舞し合える強い組織へと成長していきます。また、新しい組織体制や、徹底されたトレーニング管理等を通じて、支えて下さる皆様に、結果という最高の形で恩返しができるシーズンにすべく、チーム一丸となって精進してまいります。

どうぞ、変わらぬご声援をよろしくお願い申し上げます。

主将 水野俊輔



■部長 西川 伸一



■監督 櫻井 亮



■オフェンスコーディネーター
中村 聡



■ディフェンスコーディネーター
渡邊健太郎



■キッキングコーディネーター
佐藤 成生

コーチ陣紹介

幹部紹介



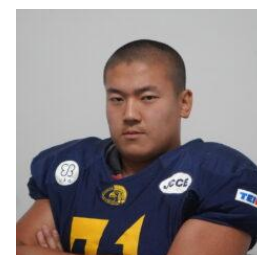
■主将 水野 俊輔
(南山)



■副将 大村 徹兵
(箕面自由学園)



■副将 後藤 珠
(千葉日本大学第一)



■副将 島田 武
(明大中野)



■主務 小山田匠吾
(栄東)

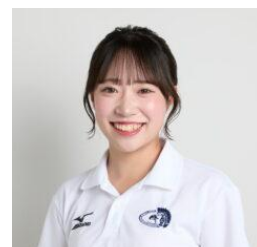
学生スタッフ(4年生)紹介



■MG 鈴木こころ
(学法石川)



■MG 角田 知咲
(明大明治)



■MG 田中 来実
(明大明治)



■MG 田中 椋子
(明大八王子)



■MG 矢木 涼香
(市ヶ尾)

学生スタッフ(4年生)紹介



■AS 趙 顯書
(デヨン)



■TR 小笠原 萌
(仙台第一)



■TR 関谷 萌未
(都立西)

GO ! ALL OUT !

